

1月23日 財政福祉委員会 山口清明議員

請願
陳情

「敬老パス」などは社会福祉審議会で議論

1月23日の財政福祉委員会で、「敬老パス存続を求め
る請願」など7件の請願・陳情が審査されました。

前市長の「改定後10年維持」を再確認

「敬老パスをまもれ」の請願について、山口清明議員が、敬老パスを有料化したときに「10年は現行制度を維持する」と言っていたことの見解をただしました。当局は「10年は継続と言っている。平成25年は一つのめど」と答えました。山口議員は、費用と効果の検証が行われるようだが、敬老の精神で交付されてきたものであり、団塊の世代になっても自動車利用が多く、費用がそれほど伸びていないこと、医療圏での比較でも名古屋圏は外出する率が高いこと、外出で買い物などの経済効果を始め、文化や環境、交通問題等総合的に検証する必要があると指摘しました。

仕分けで「廃止」事業は「保留」に

「ファール号」「高年大学鯉城学園」「松ヶ島」について、それぞれ市民に親しまれている実態を示し、当事者の意見をもっと聞いて、その在り方を考えるべきで一方的に「廃止」というのは納得されないと指摘しました。市は「社会福祉審議会を立ち上げ、意見具申をいただく。専門委員や有識者、公募委員（臨時委員）をおいて部会などを行い、当事者は委員としてではなく、ヒアリングで意見を述べてもらう」などと答

えました。「ファール号」と「松ヶ島」の請願は「慎重に審査する必要があるので保留」となりました。

高年大学鯉城学園は「採択」

「高年大学」は各会派とも「存続すべき」という意見を表明し、共産党と減税日本、自・公・民のすべての会派の賛成で採択されました。しかし、減税日本のうち2人は採択に賛成しませんでした。

国保料引き下げなど「不採択」に

「国保と介護の改善を求める請願」について、山口議員は、高すぎる国保料で高齢者などの暮らしがひっ迫し、払いきれずに滞納が増えている実態にふれ、「資格証の発行でも収納率は変わらない」ことを明らかにするなど、国保料の引き下げと低所得者への減免などを強く求めました。しかし、減税日本と自・公・民の反対で請願の「1～4項目」が不採択となりました。介護保険料や利用料については「保留」となりました。

「視覚障害者の情報環境の改善を求める陳情」についても山口議員が、IT技術の進歩発展に合わせた支援の仕組みをと訴えましたが「聞きおく」となりました。7つの請願・陳情のうち6つの案件では山口議員だけが意見を述べましたが、減税日本の議員も含め、他の委員は1件以外は「だんまり」で、不採択などの提案に賛成するだけでした。

財政福祉委員会（2012年1月23日）の請願・陳情審査の結果

請願・陳情名	請願・陳情者	主な内容	結果
敬老パスの現行制度を守り、充実させることを求める請願	年金者組合愛知県本部	現行制度を守り、充実を	保留
敬老パスを65歳から無料にして存続することを求める請願	〃 千種支部	65歳から無料で存続を	不採択
国民健康保険と高齢者医療の改善を求める請願	名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会	国保引下げ、減免拡充	不採択
		介護保険料・利用料の減免を	保留
ファール号の存続と拡充を求める請願	南区住民	存続・拡充を	保留
名古屋市高年大学鯉城学園の存続を求める請願	高年大学鯉城学園学生会	高年大学鯉城学園の存続を	採択
休養温泉ホーム松ヶ島を存続し、充実させることを求める請願	年金者組合愛知県本部	存続し、充実を	保留
視覚障害者の情報環境の改善を求める陳情	名古屋市視覚障害者協会	デイジー図書再生専用機の給付などを	聞きおく

* 敬老パス無料化の請願と国保等の改善を求める請願は、減税と自公民が反対して不採択に。

* 高年大学は、減税の2人以外の全会派（減税も含む）が賛成して採択されました。